

陽朔県

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。

出典検索?: "陽朔県" (https://www.google.co.jp/search?hl=ja&as_eq=wikipedia&q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22&num=50) – ニュース (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22&tbm=nws>) • 書籍 (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&tbs=bks:1&q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22>) • スカラー (<https://scholar.google.co.jp/scholar?num=100&hl=ja&q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22>) • CiNii (<https://ci.nii.ac.jp/opensearch/search?lang=ja&q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22&range=2&count=200&sortorder=1&type=0>) • J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/result/global/-char/ja?globalSearchKey=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22>) • NDL (https://iss.ndl.go.jp/books?op_id=1&locale=ja&any=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22&display=&ar=4e1f) • dlib.jp (<https://dlib.jp/?q=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22>) • ジャパンサーチ (<https://jpsearch.go.jp/csearch/jps-cross?csid=jps-cross&keyword=%22%E9%99%BD%E6%9C%94%E7%9C%8C%22>) • TWL (<https://wikipedialibrary.wmflabs.org/partners/>) (2019年4月)

陽朔県（ようさく-けん）は中華人民共和国広西チワン族自治区桂林市に位置する県。漓江西岸に位置し、秀麗な景観があり、**吳邁**の詩『桂林山水』に「陽朔堪称甲桂林」とうたわれている。**桂林盆地**の南東端部に位置する^[**1**]。

陽朔県には「中国旅遊名県」の名誉がある。改革開放以来の対外開放の観光都市の第1陣として、陽朔はその美しく独特の風景により多くの観光客を呼び、観光業はすでに陽朔経済の支柱産業となった。

カルスト地形に属する自然景観は独特であり、桂林山水の精華が集まっている。比較的に名所とされる場所は洋人街である西街、映画「**劉三姐**」の撮影が行われた大榕樹景区・月亮山・龍潭、ここ数年新しく開発された世外桃源風景区・胡蝶泉風景区など、その観光業の多彩さは道中の地元の農民をも驚き楽しませる。

映画監督の**張芸謀**指揮による大規模な山水を背景にした野外ショー「**印象劉三姐**」には近年多くの観光客が訪れている。山水を舞台とした中国初の野外ショーで、何度も改善を行いながら上演されている。すでに陽朔観光の一つの名物にもなっている。

また陽朔には、漓江と碧蓮峰の下**の**摩崖石刻、**徐悲鴻**の旧居、**孫中山**の**北伐**講演の場所などいくつか人文景観もある。



中華人民共和国 広西自治区 陽朔県



相公山から望む漓江とカルスト地形



広西チワン族自治区中の陽朔県の位置

簡体字	阳朔
繁体字	陽朔
拼音	Yángshuò
カタカナ転写	ヤンシュオ
国家	 中華人民共和国

目次
歴史
行政区画
姉妹都市
脚注
外部リンク

自治区	広西
地級市	桂林市
行政級別	県
面積	
総面積	1,428 km²
人口	
総人口(2004)	31 万人
経済	
電話番号	0773
郵便番号	541900
ナンバープレート	桂C
行政区画代碼	450321
公式ウェブサイト :	
http://www.yangshuo.gov.cn/	

歴史

111年（元鼎6年）、前漢により荊州零陵郡に始安県を設置され、陽朔を管轄した。後漢になると始安侯国に改められた。

265年（甘露元年）、三国時代の呉により陽朔地区に尚安県・熙平県を設置され、荊州始安郡の管轄とした。西晋の泰始年間（265年 - 274年）、尚安県が廃止となり管轄地域は熙平県に編入され、始安郡の管轄とされた。

南朝梁（502年 - 557年）により熙平県は始安県に編入されたが、590年（開皇10年）に隋により始安県の県治が熙平より現在の陽朔鎮に移転、県治が羊角山麓に置かれ、「羊角」と「陽朔」が同音であることより県名とされここに陽朔県が成立した。

621年（武徳4年）に唐により陽朔県の一部に新たに帰義県（県治は白沙鎮旧県村）を設置されたが、627年（貞観元年）に帰義県は廃止され陽朔県に統合され、現在まで沿襲された。

行政区画

6つの鎮、3つの郷を管轄する。

区分	数	名称
鎮	6	陽朔鎮 白沙鎮 福利鎮 興坪鎮 葡萄鎮 高田鎮
郷	3	金宝郷 普益郷 楊堤郷

姉妹都市

- アメリカ合衆国 ラピッドシティ

脚注

- ↑ 『コンサイス地名辞典 外国編』、三省堂、1977年7月、P1082。



桂林市中の陽朔県の位置

外部リンク

- 陽朔県人民政府 (<http://www.yangshuo.gov.cn/>) **(中国語)**



陽朔県政府所在地である陽朔鎮

陽朔県



中国地名の変遷	
建置	590年
使用状況	陽朔県
前漢	始安県
後漢	始安侯国
三国	尚安県・熙平県
西晋	熙平県
東晋十六国	熙平県
南北朝	熙平県 廃止（南朝梁）
隋	陽朔県（590年）
唐	陽朔県・帰義県 陽朔県（627年）
五代	陽朔県
北宋/遼	陽朔県
南宋/金	陽朔県
元	陽朔県
明	陽朔県
清	陽朔県
中華民国	陽朔県
現代	陽朔県

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=陽朔県&oldid=82550826>」から取得

最終更新 2021年3月20日 (土) 09:12 （日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。